

(三陸沖北部地震)

山田港 津波防災情報図 (進入図)



座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系 (WGS84)

計算条件：最高水面 (零位)
隆起量：平均 -0.08m (-0.09m ~ -0.06m)

Zo : 0.86m
備考 : 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のもとは異なることがある。

凡例

— 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

- 最大水位上昇
- 3~最大4.2m
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満

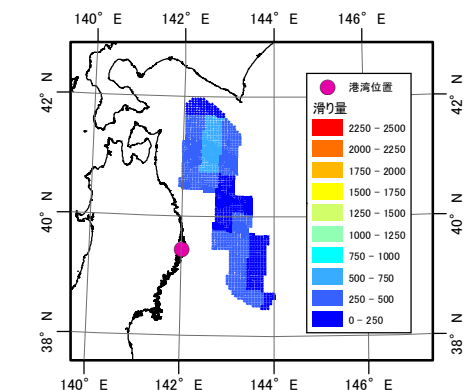
⊙ 経時変化図出力点
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

進入時最大流 [knot]

- 6 knot
- 4 knot
- 2 knot

- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を算出している。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

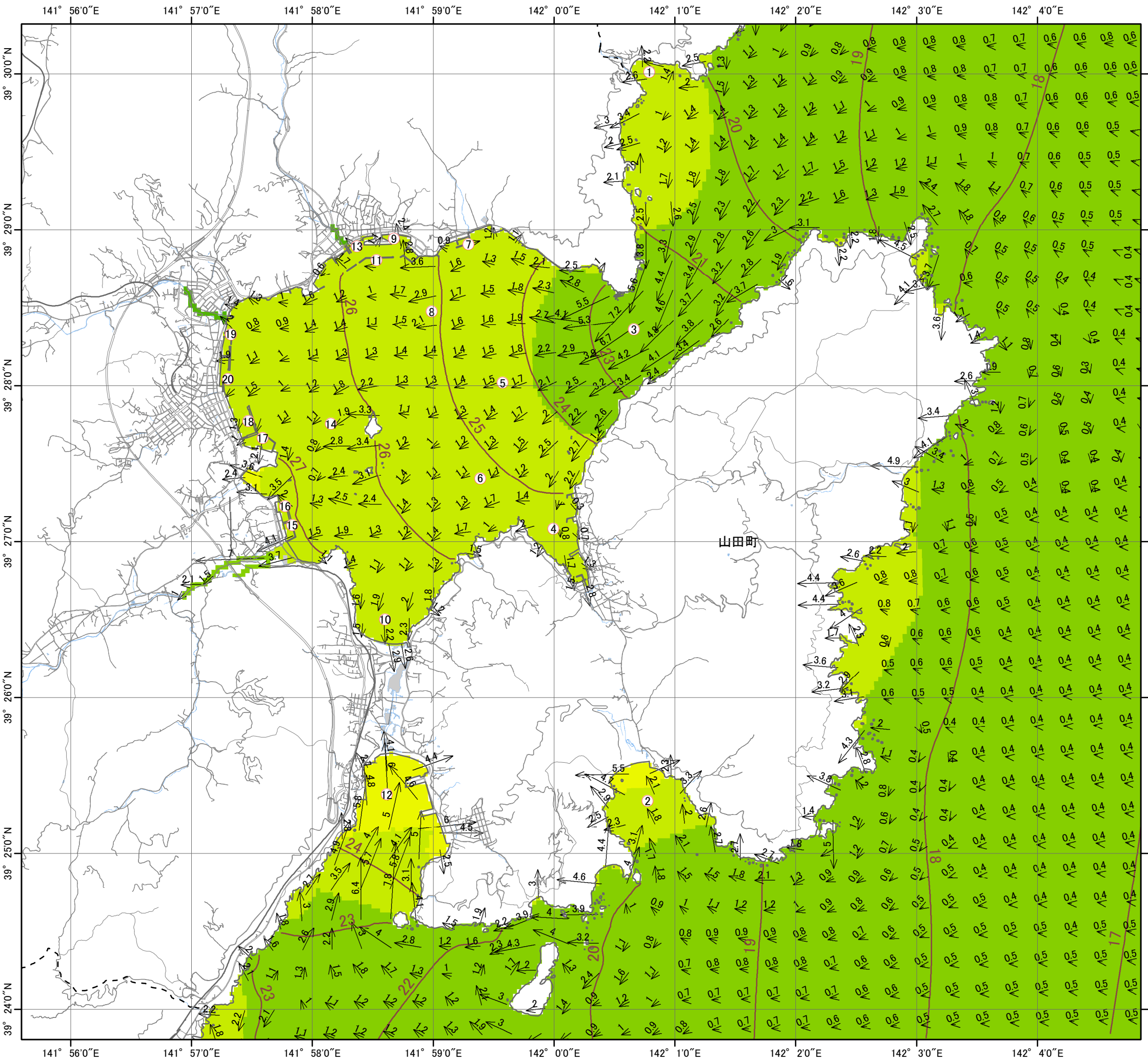
断層モデル



三陸沖北部地震

モーメントマグニチュード Mw	8.4
-----------------	-----

本断層モデルは、平成18年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」により公表されたものである。



○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・基礎地図情報5mメッシュ (標高)・10mメッシュ (標高)、及び基礎地図情報 (国土院発行 国土院院長承認 承認番号 平30情使、第326号 平成30年6月27日)

